

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年十月度 入選句（投稿総数三千二百五句・一般投句数六百五十一句）

特選

新走仕合せ者がまた愚痴る

東京都世田谷区 関戸 信治

新走は今年とれたお米で、すぐに作られたお酒のことです。
そんな仕合せなものをいただきながら愚痴るのは勿体ないことです。
世の中上を見ればきりがありません。せめてこんな自分の仕合せをよく噛みしめて、美味しく
楽しくいただくではありませんか。

赤い羽根胸に吹かれてゐる重さ

大垣市 末守 節子

毎年十月に行われる貧しい人たちの共同募金、その募金をしてくれた人たちに渡
されるのが赤い羽根、胸につければ風に吹かれるような軽いものなのですが、その心はそれらの
人を思う心の重さが込められているのです。

産院の大きな窓辺小鳥来る

養老郡養老町 田中 紫香

大きな窓辺は明るい窓辺です。
素晴らしい未来を秘めてこの世を授かる子たちのきらきら輝く窓辺にやつて来ている小鳥た
ち、きつと幸福の青い鳥たちなのだと思います。

秀逸

ずつしりと手に受く熟柿日の重み

大垣市 宮脇 和子

おとろえし母の歩みや秋の風

大垣市 山田 千歌子

赤々と小さきろうそく台風裡

大垣市 百瀬 みゆき

手花火の名残のバケツ朝の庭

大垣市 永島 みすゑ

手花火の火玉の雫落ちて闇

大垣市 富井 あや子

涼新たに白木の箸の檜の香

安八郡神戸町 高橋 泰

秋深む小さな文字の説明書

神奈川県川崎市 佐藤 廣枝

豊の秋農婦おほきな手を洗ふ

長野県下伊那郡 長沼 まさし

秋の日の障子に影や写経会

神奈川県横浜市 龍野 ひろし

入選

濃紺の老舗ののれん梅雨晴間
秋草を斜めに挿して備前焼
市庁舎の新築工事雲の峰
国分寺みのの青田のどんづまり
初秋の風のきらめく通学路
伸びをして眠る赤子や花葵
台風過ぎてアンテナ向きを変え
百段の磴百段の杖の秋
天高し隣の双子よく笑ふ
夕映えの伊吹はるかに鳥渡る

埼玉県さいたま市	森	俊彦
福井県敦賀市	山田	美千代
愛知県名古屋市	山口	こひな
各務原市	星河	ひかる
不破郡垂井町	服部	智恵
不破郡垂井町	澤島	精次
京都府宇治市	中村	広美
大垣市	村田	通夫
大垣市	鶴田	信子
大垣市	森川	きよ子

入選

合掌のははの棺や菊真白
人の字で生きる人々愛の羽根
噛み合わせぬ母との会話曼珠沙華
いわし雲泥つき野菜届きけり
秋晴や満艦飾の合宿所
たき込みの栗の匂ひや夜の風
新走提げ来て遅刻許さるる
葬送の一本道や曼珠沙華
若き穂の絹の手ざわり花すすき
応援歌突き抜けていく秋の空

安八郡輪之内町	野村	照子
大垣市	多和田	一徳
揖斐郡池田町	木塚	しょう
大垣市	岩田	唯志
大垣市	久保田	悟義
不破郡垂井町	大羽	志津子
大垣市	早崎	美弥子
不破郡垂井町	久保田	絃義
大垣市	中西	弘子
大垣市	北村	陽子

選者吟

もうそこに日暮れがありてきりぎりす

青志